

1月号

いっしん

新玉の年を迎へぬ
畏くも
神はいかにか
おぼしめすらむ
甘木教会
初代親先生万歳

第312号

平成23年(2011年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市加治木町朝日町130 発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp ホームページ http://www.7a.biglobe.ne.jp/~konkokajiki

春 頌

甘木親教会初代教会長 安武松太郎大人六十年祭
平成23年2月4日(金)

加治木教会 布教六十年記念大祭 平成23年5月29日(日)

平成二十三年の 新年を迎えて

教会長 矢野 章

平成二十三年 教祖様百二十八年、立教百五十二年、甘木親教会布教百七年、加治木布教六十年の新春を迎え、おめでとございます。

教祖様は人が助かりさえすればそれで結構であると、ご生涯を捧げられ、神様の御用にお役に立たせていただくことをご決心されました。

それは一途な深く強い一心であられるとともに、天地のみ恵み御心を深くお汲み取りになられ、親神様のお与えになられる豊かな恵みや優しさとともに、どんな厳しさも親心の深き慈愛の現れと、感受され確信されるだけの、はかり知れないほどの寛容で豊かな辛抱強いみ心をお持ちであったわけです。そういう心が神心であり信心であります。そのような心を私たちはまず家庭で現し、周囲・近隣・近在の人々に現して行き、人が助かる生活信心を、共に育て伝えて行きます。う。稽古をさせていただきましょう。

それが布教六十年のお年柄に取り組むべき、神様がお喜びになられ助かられ、神も助かり氏子も立ち行く、ことであり神恩・師恩・お道のご恩に報いることのできる、大切な実のあるご信心と言えましょう。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年を迎えて 教会長	P1
安武松太郎大人六十年祭を迎え	P2
甘木親教会 生神金光大神御大祭	P3

安武文雄大人十五年祭	P4
感謝パーティー	P5~6
教会行事	P8

来る二月四日

安武松太郎大人六十年祭

を迎えるにあたり

甘木親教会の深いご神縁を頂く、加治木教会の信奉者一同は、甘木親教会初代教会長 安武松太郎親先生がご帰幽になられました二月四日を



甘木教会の
教会ご家族と修行生

(昭和二十三年)

↑ 安武松太郎師 矢野政美大人

どのような心でお迎えさせていただけばよいのでしょうか、加治木教会前教会長 矢野政美親先生は、『私のいたたく安武松太郎師』に次のように書き残されてあります。

「昭和二十六年二月四日朝九時、親奥様、現親先生ご夫妻を始めご親類、教え子の諸師数名、修行生一同の見守る中で、天津祝詞奏上中いと安らかに、御齡八十二歳を以って神上がりになられました。

実に、明治三十七年五月八日御齡三十五歳をもちまして甘木の地に「ご布教下さり、赫々たる御教績をお建てに

なり、どれほど多くの人々が取次助けられてまいりましたことか。

私も母も、ご布教の年に父の病気で御神縁頂きましてより四十七年、今日あることを御礼申上げても尽きせぬ思いが致します。

「恩師の百日祭も済み、同年六月十七日に甘木の御広前を発たせていただいて、御神霊と恩師の御霊霊のお伴をしてみりました」と、続いてその少し後に、

「御先代恩師から現親先生に流れ伝わっております御神意中心、御神慮中心の生き方を進めさせていただきまして『神も助かり人も立ち行く』御神願ご成就の御役に立たせていただくべく、生命の限りおかげを蒙らせていただきたいと祈らせていただいております」

とあります。この文章を読ませていただきますと、故政美親先生の真剣な御用姿勢の現れであります全文中の「生命の限りおかげを蒙らせていただきたい」という言葉が胸に突き刺さってくる思いが致します。

そのようなご精神で、親神様と恩師の願いに添わせていただこうと、加治木の町で人助けの御用に当られたわけです。

そこが糸口・原点となつて、加治木教会にご縁を頂く私ども信奉者皆は今日おかけを蒙らせていただいているのです。

甘木親教会初代教会長 安武松太郎親先生の六十年祭は、故政美親先生の加治木布教の出発点と重なるわけです。

この式年祭を私ども心にシツカリと頂き直し、心から御礼申し上げるべき意味合いはどういうところかということをお聞きさせていただきます。

そうして、親神様・歴代金光様・歴代親教会親先生方の霊様にお喜びいただける信心を模索し、つかませていただきましょう。それができてこそ、加治木教会の布教六十年の記念大祭が、一人ひとりの信心の成長・向上に結びついて行くことであります。

(教会長)

甘木親教会 生神金光大神御大祭

十二月四日 参拝

十二月四日(金)甘木親教会 生神金光大神御大祭 第二日に、加治木教会からも依積田教会 崎向先生と一緒に参拝させていただきました。

十二月に入っても晩秋の紅葉が残り、冬の訪れが少し遅れているような中参拝させていただきました。

ご祭典に参拝させていただきました安武親先生のご教話を拝聴させていただきました。



「ご教話は「話を聴いて助かる道」という内容で、中でも次のようなみ教えがとて印象に残りました。

初代の『安武松太郎教語』に、

「神様を拝むことをもって、あの人は信心な人である、信心家であると思える人も多いのでありますが、金光大神様の道の信心は、拝むだけでは信心とはいえません。その拝む心がどこにあるかが問題であります。願うおかげを目的に拝むのであるとするならば、信心する人の真の信心なきこと』とお誠め給つておりであります」とありますように、信心はただ自分の願いがかなうことだけを願っておればいいのでしょうか、神様がこちらのことをどう思っておられるのかを知ることが大切です。

このお道の信心の本当の助かりを頂かねばなりません。それには、こちらが変わらせてもらわねばなりません。それにはみ教えを頂かせてもらうことが大切です。拝むばかりが信心とは言えないということです。み教えを聴いて変わらせてもらわねばならないということです。願うおかげを受けて



安武文雄大人 十五年祭
ご祭典後の境内

ありがとうございますと思うだけでは真の信心ではなく、み教えを頂いて改まり、お礼を申すという、天地の道理がわからないでは、真に助かることまでにはなりません。
とみ教えになられました。
晩秋の秋空が清々しく晴れわたる中九州縦貫道を約三時間、参拝者はありがたいみ教えをお土産として帰途につかせていただきました。

安武文雄大人
十五年祭 参拝
十二月二十三日

年の瀬が迫る師走ではあるものの終日よい小春日和となり、甘木親教会二代教会長 安武文雄親先生の十五年祭が仕えられました。
甘木親教会 一代教会長 安武文雄親先生は、加治木教会の先代故矢野政美先生と、昭和二十六年一月加治木の町での布教のためにお二人で借家を捜しに来られました。当時加治木の町は戦災のために多くの家が焼失し、まだまだバラック建ての家がたくさん残っていたそうです。
親教会 一代教会長 安武文雄親先生そのような戦後の厳しい時代から平成七年まで、甘木教会の信奉者の上はもちろんのこと、出社・関係教会の教師・信奉者の上まで、永年にわたり真実に真剣に祈りとおされ真心をこめて御用下さいました。
そのおかげで今日の加治木教会があると云っても過言ではありません。



ご祭典後の
ご霊殿

お礼の真心を込めて加治木教会からも共々に十五年祭に参拝させていただきました。



この写真は大阪教会在籍の吉園さんが撮ってEメールで送信して下さいました。ありがとうございました。

少年少女会・信徒会 感謝パーティー

開かれる

十二月十一日

十二月十一日(土)、加治木教会において年末恒例の感謝パーティーが開かれました。少年少女会と信徒会共催で開かれ、ケーキ作りや会場の装飾は少年少女会員で、シチューの調理などはご婦人の信者さん方が担当されました。

加治木町の蒲生田(かもだ)通りでは「師走市」が催されていますが、少年少女会員も早めに教会へ集まりケーキ作りに精を出しました。

感謝パーティーでは「今年一年皆それぞれいろんなできごとがありました。それぞれいろいろな形でおかげを蒙らせていただき、健康やあたりまえという最も尊く素晴らしいおかげを蒙らせていただいてきました。そのことに改めて心の眼を向け、御礼・感謝を込めて今日の感謝パーティー

イーのひとときを過ごさせていただきましょう」とのあいさつで始まりました。



親奥様
お元気な
ようすで

ながらビデオを
きながらDVDを
頂写を
を返る
そうを
ごちを
おいしい
美味今年
今年



ケーキ作りは
趣向を凝らして...

親奥様(九十一才)もお元気そうでした。パーティーに同席され、舞踊などを楽しくご覧になられました。





美味しそうな
手作りケーキの
でき上がり！

シャンペンや手作りのシチュー、
ホットなお弁当、少年少女会員手作
りのケーキに舌鼓を打ち、歓談をし
ながら食事を頂き、吉屋さん小屋敷
さんによる舞踊が披露され、少年少
女会員によるプレゼントくじ引きや
今年一年をふり返る写真ビデオの鑑
賞で楽しむうちに、屋外はいつの間
にか夜の帳が下りてしまっていました。



15番の方当りで～す



わたしもおどりたいな～



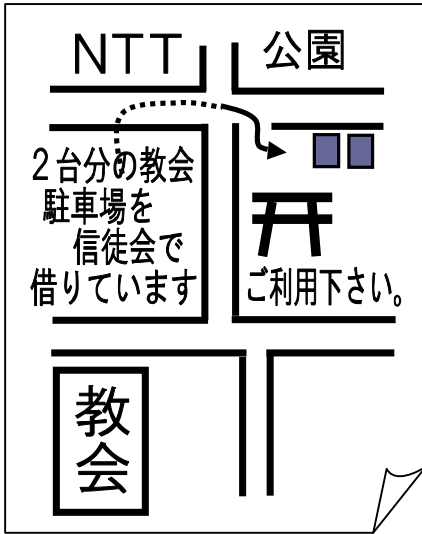
小屋敷さん



吉屋さん



ちびっ子たちもよい御用ができました
プレゼント抽選の司会とプレゼント渡し



「あたり前 こんな素晴らしいことをみんなどうして喜ばないんだろ...」というフレーズのある詩がありますが、いったんあたり前となつて馴れてしまうと、お礼を言うことや感謝の気持ちを現すことを忘れてしまい、不足や減らず口を平気でたいてしまつています。反省...

不足に思つてゐることや減らず口を平気でたいてしまつてゐることをふり返り、お礼を申すべき感謝すべきことではないかと省みる信心の稽古を、きつと新年の朝からは！

訃報

淵ノ上久雄氏が十月二十三日(83才)お国替えされました。お元気な頃は信徒総代の御用もおかけ頂いておられました。霊様のご安心とお道立てをお祈り申し上げます。

あしあと

加治木教会行事記録

12月

- 1(水) 報徳月例祭 10時半
- 3(金) 甘木親教会御大祭 第一日
- 4(土) 甘木親教会御大祭 第二日
- 9(木) 斎掃 御用 10時
- 10(金) 生神荒 大神様 月例祭 10時半
- 11(土) 感謝パーティー
- 12(日) 御本部布教功労者報徳祭
- 14(火) 運布教協議会(教基) 10時半
- 18(土) 斎掃 御用 10時
- 19(日) 月例祭・共励会 13時半
- 23(祝) 甘木親教会二代教会長 安武文雄大人十五年祭
- 29(水) 斎掃 御用 10時
- 30(木) 越年祭 13時半

ご霊神様のおまじり

一月

- 中村宗吉之霊神(4日)昭和61年
- 内村ハル工之霊神(6日)昭和59年
- 有馬幸子之霊神(9日)平成16年
- 西本五男之霊神(11日)平成15年
- 前田正蔵之霊神(13日)昭和39年
- 瀬戸セミ之霊神(14日)昭和56年
- 小屋敷 勝之霊神(14日)平成1年
- 信國鈴子之霊神(20日)平成5年
- 中島ふさ之霊神(20日)平成16年
- 福山瑞枝之霊神(20日)平成21年
- 柳園義男之霊神(24日)昭和8年
- 本中野イセマツ之霊神(25日)昭和59年
- 桐野仲助之霊神(27日)昭和21年
- 瀬尾 清之霊神(27日)昭和41年

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥かくりよでのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。」

教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。



一月三日(月)

甘木親教会年頭参拝

出発 午前七時頃

一月七日(金) 十時半より

少年少女会 鏡開き・七草祭

※お祭りのあと、ぜんざいと七草たこ焼きを作ります！書初め用習字道具持参してね！

一月十日(祝) 十時半より

加治木教会 月例祭に併せて

成人感謝祭 奉仕

※成人者、玉串奉奠・記念品授与。

一月三十日(日) 十時より

場所 鹿兒島教会

鹿兒島地方教会連合会

定期総会

二月四日(金)

出発 午前七時半 帰着 午後六時頃の予定

甘木親教会初代教会長

安武松太郎大人六十年祭 参拝

月例祭 22日→23日 変更になっています！

教会行事

平成二十三年

1月

1(祝) 元日祭 正午

3(月) 甘木親教会年頭参拝

7(金) 少年少女会 10時半

9(日) 斎掃御用 10時

10(月) 生神金光 大神様 月例祭・豊祭 10時半

13(木) 若婦人会 13時半

14(金) 連合会 執行部会

16(日) 甘木野口家霊祭

20(木) 少年少女会連合本部 理事会

22(土) 斎掃御用 10時半

23(日) 月例祭日時が変更になります。

23(日) 西鹿兒島教会報徳祭 12時半

30(日) 青年会 ウィンターM(兼ミテイング) 20時

31(月) 連合会定期総会 10時(兼鹿兒島)

31(月) 斎掃御用 10時半

一月五日～二月一日

寒中一斉修行

ご祈念・研修 午前五時二十分～午前十時 祈念のみ 午後四時～午後九時

2月

1(火) 報徳月例祭 10時半

4(金) 甘木親教会 初代六十年祭

10(木) 月例祭 10時半

12(土) 御用奉仕

13(日) 矢野政美大人立日(祈念) 10時

16(水) 上荒田教会 報徳祭 11時

17(木) 若婦人会 13時半

17(木) 甘木親教会報徳祭 11時

18(金) 甘木親教会「同釜会」

21(月) 斎掃御用 10時

22(火) 月例祭 共励会 13時半

23(水) 青年会 ウィンターM(兼ミテイング) 20時

27(日) 加治木教会 報徳祭 11時

28(月) 斎掃御用 10時

多良木教会報徳祭

少年少女会

少年少女会 青年会 若婦人会は、都合により日程を変更することがあります。随時連絡しますのでお気を付けて下さい。